

に け ー し よ ん

2/17 愛南コーラスフェスティバル

御荘文化センターで、合唱団コスモス(代表 山崎文子さん)主催による「愛南コーラスフェスティバル」が開催されました。

今年で7回目を迎えたコーラスフェスティバルには町内外から8団体、約170名が出演し、息の合った爽やかなハーモニーを会場いっぱいに響かせました。



地域福祉のために活動しています

視覚障害者の暮らしの手助けをしようと「てんとうむしの会」(代表者 脇田加苗さん)が、ボランティアで書物の点字翻訳(点訳)を行っています。

本誌『広報あいなん』の点訳も「てんとうむしの会」の主な活動の一つで、毎月11名の会員がプラザじょうへん(城辺甲)に集まり、広報誌の点訳作業に取り組んでいます。一人当たりの作業割当ては、2、3ページだそうです。点訳作業には3時間あまりかかるそうです。この大変な作業に笑顔で取り組む皆さんの姿がとても印象的でした。

また、「てんとうむしの会」は広報誌の音訳も行っていますが、朗読を担当してくれる方を募集しています。興味のある方は、プラザじょうへん(TEL73-2288)までご連絡ください。



本日! 海日和!! Vol.28 「春色のサンゴ」

桜のつばみも膨らみ、春はもうそこまで来ています。今回は水中のお花畑に例えられるオオトゲトサカを紹介します。

オオトゲトサカは赤蓂や黒蓂など、浅くて潮通しのよい海域に生息しています。太陽の光を浴びて輝くピンク色は、まさに満開の桜です。オオトゲトサカとテーブルサンゴの織りなす風景が愛南の代表的な水中景観です。花が咲いているように見えますが、植物ではありません。サンゴの仲間、れっきとした動物です。触ってみると表面はチクチクしていますが、全体は柔らかくコンニャクのような手触りです。英語ではカリフラワーコーラル(カリフラワーのようなサンゴ)と呼ばれています。

海の中にも早く春が来てほしいものです。



満開の桜のようなサンゴ

(写真:オオトゲトサカ 撮影場所:赤蓂)愛南サンゴを守る会 西尾知照

愛南こみゆ

1/20 すべてころんで 柏小スキー教室

愛南町では体験できない冬のスポーツ、スキーを子どもたちに体験してもらおうと内子町の「SOL-FAオダスキーゲレンデ」でスキー教室が実施されました。スキー教室は柏小学校と内海公民館共催で毎年行われており、今年は、児童39名と教職員や保護者、同公民館関係者など総勢約80名が参加しました。

当日は晴天と豊富な雪に恵まれて最高のスキー日和になり、子どもたちは、何度も転びながらもとても楽しそうにスキーを満喫していました。



1/26 魚を食べよう

愛南町で産・学・官・民が連携して取り組んでいる「ぎょしょく教育」の一環で、「3世代交流調理実習」が中浦小学校で行われました。

調理実習では、まず、シーフードマイスターの和田誠さん(福浦)が、天然鯛と養殖鯛の違いや魚の体の構造について説明し、続いて鯛の解体を実演しました。その後、児童は早速調理に取り掛かり、6年生がお母さんやおばあさんの手助けを受けながら、鯛のうろこや内臓をとる作業に挑戦するなど、役割を分担してこの日のメニュー「鯛ピザロール」と「鯛そうめん」を完成させました。

子どもたちは大皿に盛られた魚料理を見る間にたいらげ、楽しい3世代交流となりました。子どもたちは「楽しかった」と声をそろえ、2年生の中平友惟さんが「おいしかったし、楽しかった。おうちでも料理してみたい」と感想を述べるなど、早速「ぎょしょく教育」の効果が表れたようでした。



2/10 祝 東海小学校開校50周年

東海小学校の開校50周年を記念して、同校体育館で「はつらつ東海研究発表会」が盛大に開催され、同校の歴代の校長やPTA会長を始め、卒業生や地域住民が参加して在校生の発表に大きな拍手を送りました。

3年生の「昔の東海小学校」と題した発表では、東海小学校の変遷がスクリーンに映し出された写真とともに紹介され、参加者は往時の母校を懐かしく思い起こしているようでした。

また、記念事業実行委員会(宇佐總一実行委員長)から校旗や学校備品の贈呈があったほか、ソプラノ歌手塩野泰子さんを招いての記念合唱も行われました。



2/15 岩松トンネル工事現場見学会

愛南町や国土交通省大洲河川国道事務所などで構成される町防災教育推進懇談会が、防災教育の一環として建設現場見学会を実施し、内海中学校の1年生16名が参加しました。

見学会は、宇和島市津島町と柏地区を結ぶ高規格道路国道56号 津島道路の岩松トンネルで実施され、参加した生徒は、先端測量機器等を用いて最新の土木技術を体験したほか、大規模災害時の緊急輸送道路確保や医療機関への搬送時間短縮など、道路の整備効果について学びました。

